



こんなところが危ない!!



- ✓ 設計当初より、2階以上に重い機械がある。
- ✓ 柱足元のアンカーが不足している。
- ✓ 柱や梁に比べ、壁面の筋かいが細い。
- ✓ ブレースがない。
- ✓ 屋根、床が老朽化している。
- ✓ 昭和56年以前に建てられた建物。
- ✓ RC造の壁面にクラックが目立つ。
- ✓ 雨漏れが直らない。
- ✓ 建築士設計外での増築をしている。
- ✓ 構造図または、構造計算書が無い。



ニッポンの工場を強くする。
yoshizawa group

いったい どうする!?

やるなら今!!

耐震対策

耐震対策の流れ

まずはご連絡ください。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

初回訪問

書類、図面の保存状況確認
建物の状態確認

見積提示

概算補強の提案
状況に基づき、補強の説明

診断ご契約

補強計画のご提示
耐震診断結果のご報告

補強設計

補強工事の費用をご提示
補強位置の擦り合わせ

耐震補強工事

HPをリニューアル
しました▶



オンライン営業
始めました▶



Youtubeチャンネル
始めました▶



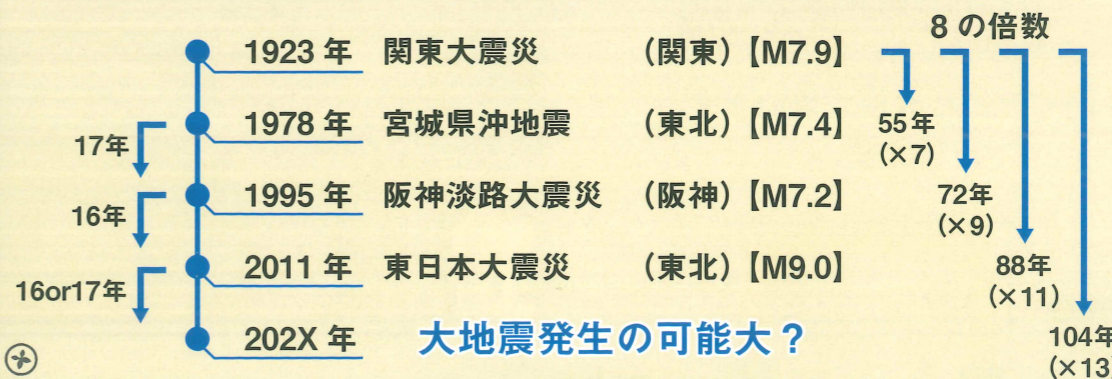
yoshizawa 株式会社ヨシザワ 建築構造設計

まずはお気軽にお問い合わせください。

東京本社 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-13-6 MUTOH浜町ビル3F
TEL 03-5641-4430 / FAX 03-5641-4431

0120-17-4430

近代日本大地震の歴史からの推測

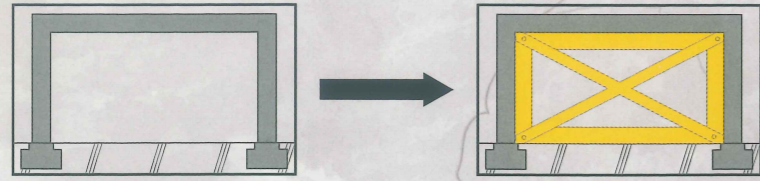


大震災の歴史から
近代日本大地震の歴史を紐解くと関東大震災を起点に約8の倍数にあたる年数の時に大きな地震が起こっている。また、直近40年で見ると、16、7年のサイクルで発生している。

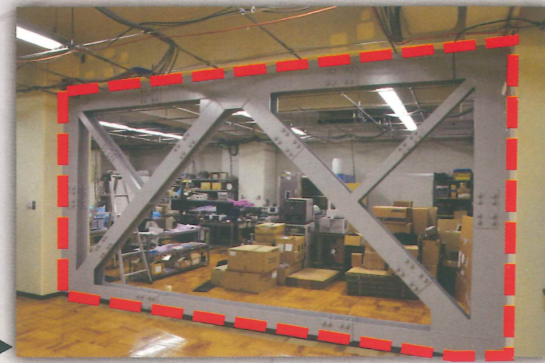
今、大地震が起こった時、優先すべきは人命です。建物を大地震による倒壊から守る補強事例

枠組補強

柱と柱の間に鉄骨で枠ごと組んだブレースをはめ込み、地震による変形を抑えます。



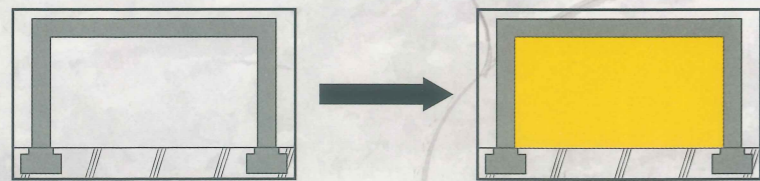
完成写真▶



■ …RC造 ■ …鉄骨造

耐震壁補強

柱と柱の間(開口部)にRC壁を作ること耐震強度を上げます。

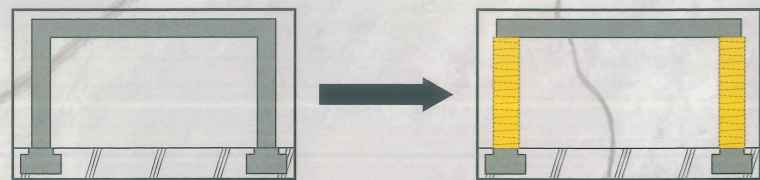


▲耐震壁内部



包帯補強

既存の柱・梁の強度を向上させる為、ポリエステル性の高延性剤を包帯の様に巻く方法になります。



◀施工写真

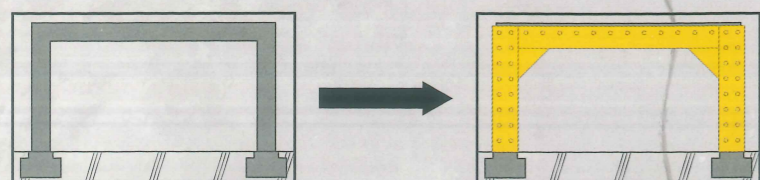
完成写真▼



SRF材▶

鋼板補強

既存柱の変形による崩壊を防ぐために鉄板で覆います。

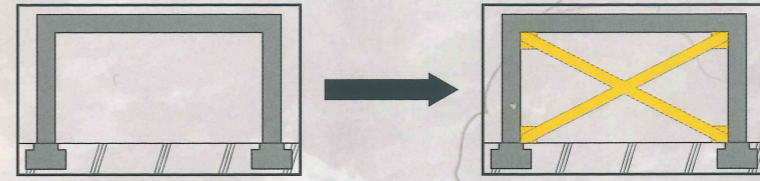


施工写真▶



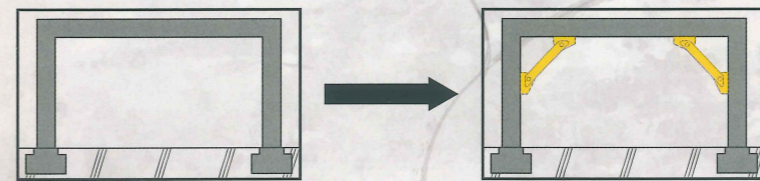
ブレース補強

地震による建物の変形を抑えます。耐震効果が最も上がります。



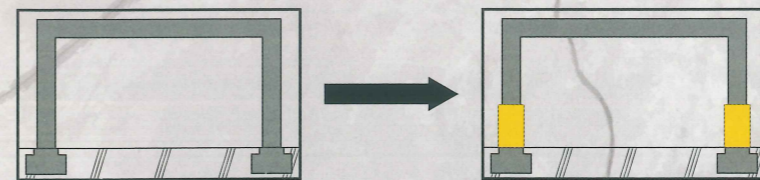
方杖補強

柱・梁を一体化させることで建物の変形を抑えます。また、梁下のスペースが有効に使えます。



柱脚根巻き補強

柱の足元を固め、地震による揺れを抑えます。



▲Before

After▶

コンクリート打設

Check

崩落・剥落防止
(ガラスネット補強)
大地震の揺れによる壁の崩落から人命を守ります。(耐震強度は上がりません。)



▲剥落防止ネット

塗装後▶

～「建物は人命を守るシェルターでなくてはならない」～